

教養部准教授 大田 高輝

## 1. 研究活動

「占領下公民館構想の形成と展開」	2015. 6. 20	日本公民館学会公民館構想研究会	日本公民館学会公民館構想研究会の依頼を受けて行なった研究報告。「占領下公民館構想」の形成過程、日本文「占領下公民館構想」の検討、占領下公民館構想の展開に関する内容を報告。
「占領下公民館構想の形成と展開」	2015. 11. 30	日本公民館学会年報 第12号	日本公民館学会の依頼を受けて、同学会年報に寄稿した研究論文。占領下公民館構想の形成の詳細、占領下公民館構想の方法概念としての提起、占領下公民館構想の展開にわたる研究内容を論文発表。
日本公民館学会年報 第12号（「占領下公民館構想の形成と展開」）（要旨報告及び合評意見発表）	2016. 2. 20	日本公民館学会年報合評会	日本公民館学会の依頼を受けて、日本公民館学会年報第12号の執筆者として、同年報の合評会に際し、拙稿「占領下公民館構想の展開」の要旨報告及び合評意見を発表した研究。
「占領下公民館史研究序説(15)」	未発表	未発表	占領下公民館構想の形成過程、その展開過程、及び制定時社会教育法の公民館関連規定の形成過程において、GHQ/SCAP・CI&E教育課成人教育担当官 J. M. ネルソンが公民館の構想化、普及化、法制化にどのような役割を果たしたかを実証的に跡づけた研究。
「愛知軍政部月例報告翻訳研究」	未発表	未発表	共同研究者：新海英行、榊原博美、林恭子、村瀬桃子、石井拓見。共同研究者で構成する占領期社会教育史研究会で翻訳研究発表を前提に、愛知軍政部が作成した1946年8月下旬からのSemi-Monthly Report及び1947年2月からのMonthly-Reportを含む軍政活動報告文書を月例の研究会で詳細翻訳検討している研究。順次、その翻訳成果の発表も行なっている。
「民衆芸能教育の研究」 （「子どもたちの自己表現を 励ます教育実践の創造(3)」）	未発表	未発表	2006年度に愛知県の小学校で実施した「民衆芸能教育」を基礎に、全国で展開されている幼稚園、小中学校を中心とした和太鼓・民舞への取り組み（「民衆芸能教育」）で創出されている教育的価値を抽出する研究。毎年7月末に開催されている「名古屋市小中学校和太鼓・民舞フェスティバル」などを足がかりに、現在研究が進展中。

「障がい者社会教育の研究」	未発表	未発表	かつて1996年に名古屋市を事例として取り組んだ障がい児・者の教育に関する調査・実践研究を基礎に、彼らが生きいきとした地域生活を送るために必要としている地域学習文化スポーツ活動や、それらを支える地域住民が必要とされている地域学習文化スポーツ活動の実践創出の可能性と限界を明らかにする研究。重症心身障がい者通所更生施設「樞の家」での実践検討と教育的価値の創出の過程を中心として分析進展中。
「中等教育実践における教育方法に関する一考察(2)」	未発表	未発表	2006年3月に『社会教育研究年報』第20号に「一教育方法と教師の役割を考える教育実践の展望を核にして一」という副題で、その(1)にあたる研究を発表しており、その続編にあたる論考を現在準備中。
「教育課程編成における教育内容の精選に関する一考察(1)」(仮題)	未発表	未発表	「教育課程編成」すなわち教育内容計画の編成における当該教育内容に関しての「精選」の問題に焦点を当てた研究。現在講義担当している「教育課程論」における教材の「精選」の問題を取り上げ、さらにその教材の中から諸問題を分析的に抽出する試みを現在進行中。
「教育課程編成における子ども・父母・地域住民・教師の協働に関する一考察(2)」(仮題)	未発表	未発表	2007年に『名古屋芸術大学研究紀要』第28号において、「一教育課程政策の変遷と地域教育運動を視野に入れながら一」という副題で、その(1)にあたる研究を発表しており、その際には、教育課程政策の変遷の分析において1988年学習指導要領策定の分析までにとどまっていたが、その後の学習指導要領改訂の動向と実践展開を視野に入れた、その続編にあたる論考を現在準備中。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 教育方法論	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>学生の学習の自由を最大限に保障するために、感性と知性を十全に働かせて自由記述に近い課題（感想）文を書いている。その触発教材として「教育方法」を感受できる視聴覚教材を精選した上で活用しており、講義に主体的に参画できる工夫を行なっている。</p>	<p>視聴覚教材の精選されたもののほか、その参考資料として活字・写真等で示した各教材の参考プリントを必ず作成・配布して、より深い感受を導いている。また、基礎的・基本的なプリント学習用の教育方法論資料シリーズを作成・配布・検討しているほか、感受のより一層の促進のためのプリント資料も作成・配布・検討している。</p>

授業科目名 教育課程論	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
学生の主体性を引き出すために、教育内容編成に学生の意向を反映させることができるように工夫しており、所感を書いてもらう折などに、講義内容に対する要望、意見、文句などを忌憚なく寄せてもらい、それらを柔軟に講義内容編成に反映させていくことを積極的に行なっている。	精選された視聴覚教材を準備するほか、学生の感受の契機となるような各教材の参考プリントも必ず作成・配布している。また、基礎資料として各種法令や学習指導要領に関するプリントを当然の如くに作成・配布・検討しているほか、感受性を刺激する韻文のプリント資料も作成・配布・検討している。

### 3. 学会等および社会における主な活動

日本教育学会	1987～現在に至る	会員
日本社会教育学会	1985～現在に至る	会員
民俗芸能学会	2008～現在に至る	会員
日本教育法学会	1987～現在に至る	会員
日本公民館学会	2005～現在に至る	会員
社会教育推進全国協議会	1985～現在に至る	会員
愛知保育問題研究会	2008～2016	会員
占領期社会教育史研究会	2003～現在に至る	会員